

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

佐賀県 江北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	16.92	100.00	2,990

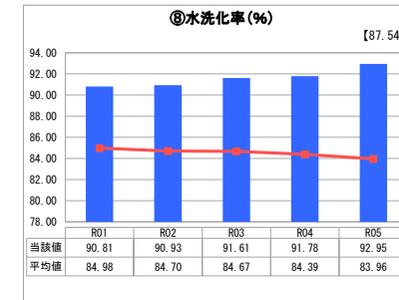
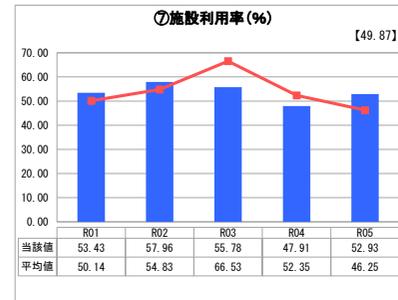
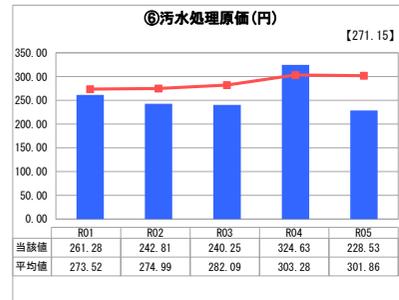
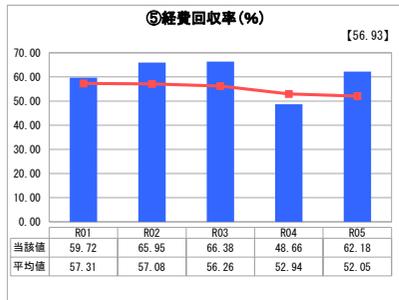
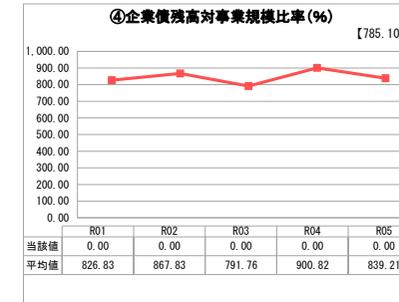
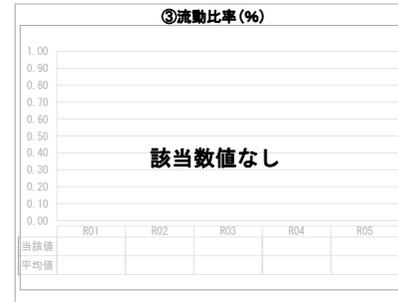
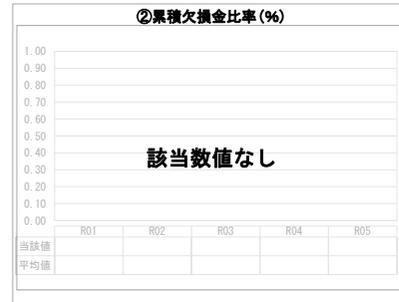
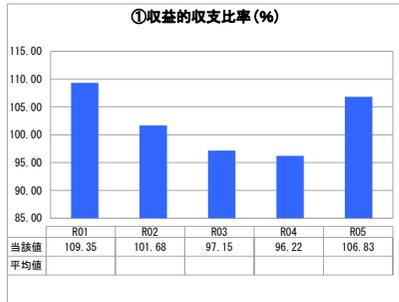
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,593	24.88	385.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,616	0.72	2,244.44

**グラフ凡例**

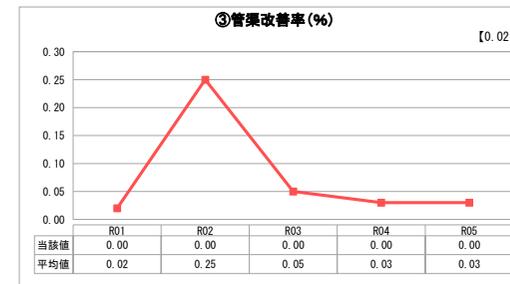
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率、経費回収率、汚水処理原価が改善しているが、地方公営企業会計への移行に伴う打ち切り決算を行ったことにより決算時点の総費用が減ったことによるもの。

農業集落排水事業は、処理場の維持管理費用を下水道使用料だけでは賄うことができない状況であるため、収入の多くを一般会計からの繰入に依存している。維持管理費の必要経費を精査し、低減に努める必要がある。

施設利用率、水洗化率は類似団体及び全国平均よりも高い。なお、本事業は農業集落区域を対象であるため今後、接続戸数の大幅な増は見込めない。

## 2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設については、平成11年度の供用開始から24年を経過し、施設の老朽化が進んでいる。平成27年度から令和2年度まで国庫補助金を活用した更新工事により一部施設は機能強化・長寿命化が図れているが、今後も処理場・ポンプ場の機械電気設備の更新を行う必要がある。R7年度には次の更新計画の策定を行う予定である。

## 全体総括

農業集落排水施設については、長寿命化や、必要経費の精査を行い、維持管理費の低減に努める。

また、令和6年度に地方公営企業会計に移行した後、下水道事業経営戦略や維持管理費に見合った下水道使用料の見直しについて検討を行い、一般会計からの繰入に依存している状況からの改善を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。